

ロボットが変える未来の在宅ケア

* 生活支援・介護支援ロボットに関する最先端の研究を紹介

急速な高齢者の進展に伴い、医療・介護従事者の負担や人材不足などの深刻な問題が発生しています。そうした中、今、ロボットの世界は驚くほどダイナミックな動きをみせており、生活支援用ロボットがそうした問題の解決策として期待されています。



日常生活や業務において人の支援を行うロボットの開発はどこまで進んでいるのか。産総研で進められている生活支援・介護支援ロボットに関する最先端の研究開発をご紹介します。

アザラシ型メンタルロボット「パロ」の実演もあります

ロボットが変える未来の在宅ケアについて考えてみませんか。

【日時】 平成28年11月19日（土） 10:00～11:30

「第6回日本在宅看護学会学術集会」1日目に開催します。
本研修セミナーのみの参加も可能です。

【場所】 武蔵野大学 武蔵野キャンパス1号館 1階1101教室

【講師】 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

ロボット研究イノベーションセンター
サービスロボティクス研究チーム

主任研究員 本間 敬子 氏
同 梶谷 勇 氏

※講師の変更が
ございました

【参加費】 会員・学生 無料 非会員 2,000円

※参加費が変更になりました。当日セミナー会場入口でお支払いください。

【申込方法】 準備の都合上できるだけ裏面の申込書を記入し、**平成28年11月10日（木）**までに下記研修委員会宛 F A X 又は、メールアドレスまでご送付ください。当日参加も可能ですが定員を超える場合、入場をお断りする場合がございます。

F A X : 045(712)0361 メール : houkan@houkan-minami.jp

*お問い合わせはメールにてお願いします